

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民及び流山市来訪者 ・地域：流山本町・利根運河地域	意図	・流山本町及び利根運河地域における観光振興・活性化を図る
事業内容	両地域に存する歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、民芸品等の販売・展示を行う拠点をオープンさせ、市民の交流の場を創設し地域の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	両地域の活性化と歴史的建造物の保存・継承を図る目的で「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」を平成23年6月に制定した。平成23年度は2店舗、平成24年度は1店舗、平成25年度1店舗、平成26年度に2店舗が当該補助金を活用し、両地域における活性化及び観光集客に大きく寄与している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	補助金の活用件数	1	1	2	件
②	施設等入館者	75,780	60,563	77,776	人	↑↑↑	実績
③	イベント入込客数	156,335	166,178	189,482	人	↑↑↑	実績
④	マスメディア（TV・ラジオ）露出数	10	48	14	回	↑↑↑	実績
指標で表すことができない定性的な成果	観光交流人口の増加に伴い、地元住民や商店主の活性化に対する意識が向上し、以前の賑わいを取り戻しつつある。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	・補助金を活用した古民家プロジェクトは、マスメディア等に取り上げられるなど認知度の向上が図られ、入込客数からも効果が検証できる。 ・老朽化し未利用であった歴史的建造物が再生され、貴重な地域資源の保存・継承が図られるとともに、観光交流拠点として地域活性化に大きく寄与している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	44,356,893	15,470,790	18,191,349				
事業費(b)(円)	37,107,113	8,413,920	11,212,990				
うち一般財源	37,107,113	8,413,920	11,212,990				
職員給与費(c)(円)	7,249,780	7,056,870	6,978,359				
人役・職員(人)	1.01	1.01	1.01				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)	(建設又は取得年度のみ記入)						
想定耐用年数	(建設又は取得年度のみ記入)						

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	補助金を活用した事業を2店舗オープンさせる。	③取り組みの課題	更なる店舗展開を行い、地域内の回遊性を高め、観光交流人口の増大を図ることが求められている。
②今年度(H26)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を活用した事業を2店舗オープンさせた。 マスメディアへの露出を高め、実効性ある宣伝を実施。 	④今後の改善計画	観光交流人口が増加している今をチャンスと捉え、地域住民や地元商店と連携して中長期的な視点で観光振興施策を展開する。